

## 会議録

会議の名称	男女平等参画推進委員会 平成26年度 第21回
開催日時	平成26年4月11日（金曜日） 午後6時30分から7時30分まで
開催場所	田無庁舎 1階 102 会議室
出席者	出席：石崎副委員長、海老澤委員、後藤委員、大竹委員、高田委員、谷関委員、照沼委員、渡辺委員 欠席：渥美委員長、小澤委員、島委員、牧田委員、大野委員、布施委員、事務局：古厩課長、日下部課長補佐兼係長、渡邊主査
議題	(1) 第20回男女平等参画推進委員会会議録（案）の承認について (2) 西東京市第2次男女平等参画推進計画実績評価報告書について (3) その他
会議資料の名称	「配布資料」 (1) 第20回男女平等参画推進委員会会議録（案） (2) 西東京市第2次男女平等参画推進計画実績評価報告書
記録方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input type="checkbox"/> 発言者の発言内容ごとの要点記録 <input checked="" type="checkbox"/> 会議内容の要点記録
会議内容	
<p><u>(開会)</u></p> <p>副委員長より、市長答申には4人の委員が出席した旨の報告を行った。 事務局より、3月議会で第3次男女平等参画推進計画に関するパブリックコメントへの対応に関する質問があり、パブリックコメントを受けて修正した点について回答した旨の報告を行った。</p> <p><b>議題 (1) 第20回男女平等参画推進委員会会議録の承認について</b></p> <p>○委員： 4ページ上から7行目「働く人の侵害」を「働く権利の侵害」と修正してほしい。</p> <p>○事務局： 承知しました。 (その他委員からの異議はなく、議事録を承認)</p>	

## 議題 (2) 西東京市第2次男女平等参画推進計画実績評価報告書について

(1 ページのはじめにと 5 ページこれからの課題について事務局より説明した。)

副委員長：

ご意見がないようなので承認としたい。

## 議題 (3) その他

○事務局：

西東京市第3次男女平等参画推進計画・西東京市配偶者暴力対策基本計画の印刷が終わり、委員の皆様へ1部ずつお渡しします。本編は330部、概要版は850部印刷した。庁内各課、近隣自治体等へ配布するとともに、市民の方は、情報公開コーナーや図書館で閲覧できます。また、ホームページにも掲載いたしますのでご覧ください。

○副委員長：

4月1日付で担当課に人事異動があったのでご挨拶をお願いしたい。

(課長より挨拶をした。)

○副委員長：

委員の皆様よりひとことお願いします。

○委員：

任期の途中からの参加であったが、熱い委員会であったと思う。短い期間であったが実際に出来た計画をみると胸が熱くなった。

○委員：

任期の途中からの参加であったが、この委員会は市民の方が積極的に意見を出しているところが、今まで経験した委員会とは違うところであると思う。また、それを取りまとめている事務局も大変だったと思う。大変良い経験になりました。

○委員：

市民公募で委員になったが、学識経験者の方がいるなかで意見が言えるか不安であった。以前、他の自治体で委員になったことがあったが、その時は意見を聞くだけで取り入れてくれなかったが、西東京市では意見を聞いて取り入れてくれたのがすばらしいと思った。男女平等は、なかなか理解されない分野であるが、少しずつでも変えていければと思っています。

○委員：

概念は知っているが、有識者の方や知識をもった方の話を聞いて、毎月の宿題にあおられなが

らも、勉強させていただいた2年であった。事務局も委員も同じ目線で考えているようで、この委員会が男女平等参画の場になっていると感じた。大変であったが、委員会があることが生活の軸になっているようで、勉強になりました。

○委員：

最初は市民公募委員が2人しかいなかったのが心細かったが、途中から市民公募委員が増えてにぎやかになった。みんなが分け隔てなく活発に意見を出し合う、事務局も有識者も市民委員も男女平等が実践されているというか、民主的な委員会であるとの印象をもった。そのような経緯でできた計画書は大変うれしく、感慨深いものがありました。

○委員：

アンケート調査の結果などを検討して積み重ねていった結果、立派な計画書になったのをみると感慨深い。市の計画がどのようにできているか知らなかったのも、計画ができるプロセスに参加出来てとてもよかった。これも参加してわかったことなので、機会があれば周りの方に話していきたい。

○委員：

2年間厳しくたくさんのお仕事をしなければならぬ皆様とご一緒出来たことは思い出深い。長年この委員会に参加しているが、市民の方は暮らしや地域の課題をお話なさるし、事務局の方は行政の立場で意見を言われたのは初めてで、活発な意見交換ができたと思う。

活発な意見交換は伝統みたいなものがあると思う。昨日今日女性たちがはっきりものを言う町になったわけではない。昔からPTAの会長もやってきたし、町内会の活動もしてきたし、議会を傍聴して問題点を指摘してきた。この地域には女性がものを言うという見えない遺伝子みたいなものがあるのではないかと思っている。また、途中から議長をお勤めになった副委員長にお礼を言いたい。最後に条例ですが、ぜひ西東京市にもほしいと思う。

○事務局：

男女平等を意識しないで生活してきたが、この場でいろいろ勉強させてもらった。知識のない中、委員の皆様を支えていただきありがとうございました。

○事務局：

副委員長には途中から議長を務めて頂き大変感謝しております。また、大変宿題が多い委員会で、皆様には多大な作業と情熱があつてできた計画であることを考えると委員の皆様には大変感謝しています。

副委員長：

20年位前に初めて他の自治体で公募の委員として委員会にでた。どの資料をみても女性差別撤廃条約のことが書いてある。あるとき、女性差別撤廃条約の解説を聞いてからのめり込んでしまった。男女共同参画社会基本法は理念ばかり書いてあるが、女性差別撤廃条約はとても具体的である。ぜひ皆さんには女性差別撤廃条約を読んでいただきたい。女性差別撤廃条約が女性の権利を主張するすべてのスタートである。条例を作ろうと思うなら、条約があり、法律があり、東京都の条例があり、市の条例ができるという流れになっていることを理解したほうがよい。皆様、2年間お疲れ様でした。

○事務局：

会議録は後日メールでお送りいたしますので、ご確認をお願いいたします。また、市長答申の日程は来週中に決めてご連絡させていただきますので、ご都合のつく方は事務局までご連絡をお願いいたします。